

進路「夢」実現



進路だより 第1号
平成30年6月1日発行
大笹生支援学校進路指導部

校長あいさつ

校長 片寄 一



大笹生支援学校の教育目標は「児童生徒一人一人の自立と社会参加を目指し、たくましい生活力と心豊かな人間の育成」です。進路指導につきましては、小学部から高等部までの学びの連続性を大切にしながら、児童生徒一人一人に合わせた将来的な自立と社会参加の姿を、早い段階から本人、保護者の皆様と一緒に考えることが大切だと思っております。

今年度も保護者進路研修会や進路だよりなどを通して、進路に関する様々な情報をお伝えできるよう、学校も積極的な情報収集に努めてまいります。

さて、6月4日から15日までの2週間の予定で高等部の現場実習が行われます。校内では6つの作業班に分かれて、特別の生活日課により実習に取り組みます。また、校外で実習を行う生徒は、県北地域を中心に44の事業所にご協力をいただき、卒業後の生活を意識した実践的な実習を行います。

子どもたちの「夢」実現を確かなものとするため、関係機関の方々や地域の皆様からのご協力とご支援を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

進路希望調査の集計結果から

4、5月に、高等部全学年の生徒を対象に進路希望調査を実施しました。

今年度も、生徒一人一人の進路実現のために、学校、家庭、関係機関と連携しながら進めていきたいと思っています。

なお、小学部、中学部は第一回、高等部3年生は第二回の進路希望調査を7月に実施したいと考えておりますので、保護者の皆さま、ご協力よろしくお願いいたします。

また、南校舎一階の掲示板に「進路掲示板」として、各事業所の情報を掲示しておりますので、進路を考える際などに参考にしてください。

進路指導部 江田 綾

高等部進路希望状況(全115名)

希望内容	希望数	希望率
進学	2人	1.7%
企業就職	28人	24%
福祉就労	50人	43%
どのような進路を選択するか考慮中	26人	23%
その他	3人	2.6%
未定・無回答	6人	5.2%

卒業生体験発表会に参加して

高等部3年1組

M. F

5月24日に行われた「卒業生体験発表会」で、平塚怜也先輩と大橋千里先輩のお話を聞きました。平塚先輩は、有限会社第一食品に就職して、卵を並べたり水気を切ったりして、燻製卵や温泉卵を作る仕事をしており、仕事で難しいことは、燻製卵に指紋を付けないようにすることだと話していました。勤務時間は8時20分から17時までで、電車で通勤しているそうです。進路先がなかなか決まらず不安だったと話していました。

大橋千里先輩は、有限会社すずらん工房に就職し、刺し子や旅館のタオルを入れる袋の紐通しの仕事を行っているそうです。勤務時間は、9時から15時半までで、仕事で厳しいことは、急いだときにミスをしてしまうと売り物にできなくなることだそうです。

私は、社会人になれるかどうか不安ですが、仕事は嫌なことばかりと決めつけしないで、これから就職できるよう、先輩が大事だと言っていた「あいさつ、返事、報告」ができるように頑張りたいと思います。

いよいよ高等部前期現場実習がスタート！

高等部主事 国分 章夫

新学期がスタートして2ヶ月が経過し、生徒たちもようやく学校生活に慣れてきたようです。6月に入り、高等部の大きな行事のひとつでもあります現場実習が、いよいよ始まります。期間は、6月4日（月）から6月15日（金）までの2週間です。1年生を中心とした校内実習と、2・3年生を中心とした校外での実習となります。

校内での実習は、事業所から材料を提供していただいて①箱折り（菓子箱）、②タオルたたみ（たたんで袋詰め）、③サービス（喫茶接遇）、④シール（塩ビ管にバーコードシール貼り）、⑤クリーン活動（校舎内の清掃）⑥リサイクル（飴を袋から出す。）など6つの班に分かれての活動となります。

また、2・3年生を中心の校外実習は、企業や福祉サービス事業所で実施します。今回は、14の企業と30の事業所の合わせて44箇所を実習を行う予定です。

これまで、校外学習で事業所見学を実施したり、先日行われた先輩の話聞く「卒業生体験発表会」で話を聞いたりするなど、先輩のようにしっかり頑張ろうと意欲が高まってきていることと思います。

今回の実習を通して、働くことや社会生活を送るために必要なことを実際に学ぶとともに、自分の適性や課題を改めて確認し卒業後の進路「夢」実現を図ることを目指しています。一人一人、実習の目標が達成できますよう保護者の皆様の励ましやご協力をよろしくお願いいたします。